鮮血に彩られた……メーデーの歴史

十九世紀の終り頃の導い血の犠牲によつて闘われ、今から凡そ八〇年前の一八七〇年をとうけとして、こゝはかりは社会問題など起るまいと言われていた米国にもようやく資本主義の矛盾が現れ始めた。一八七三年には、ニューヨークだけで二十万以上の失業者が街にほうり出され、この苦しみに働く者達はたまらず立ち上り始めた。水が乾いた土にしみ通る様に米国の働く者達の胸の中に、働く者の闘いへの血潮が一人から二人、二人より三人へとしみこみ流れこんでいつた。一八八〇年になるともう働く者の血潮は全ての労働者にわき立つていた。不当な長時間労働と低賃銀に反対して八時間労働制の闘いの目標になり、そして運動の先頭にその言葉が旗印として高くかゝげられた。

一八八六年五月一日アメリカの工場の機械は、一せいにウナリを止め、煙突の煙は消え、ボイラーの火も止つた。全アメリカの労働者は、その待ちに待つた日、ピタリと仕事を止め職場を投げ出した。そして数百万の働く者達は各都市で一大デモストレーションに入つた。力強い足どりと共に働く者の高らかな戦歌と歌とが米国中にこだまひびいた。そのデモの先頭になびく旗にはこう記されていた。

「八時間の労働、八時間の休憩、八時間の修養」

が当然おそいかゝるものがおそつて来た。大弾圧がやつて来たのを時にシカゴでは最も猛烈にデモが行われたため、弾圧も最もはげしかつた。この日シカゴでは約三十六万人の労働者がけつ起し、そのうち十五万人程の者は激しい闘いにより直ちに要求をかちとつた。然し残りの二十一万人の労働者はそのまゝストをとかずに闘いを続けた。

これを目がけて、資本家側のきば、警官、平和擾乱を守れ、再軍備絶対反対、不当首切り、労働組合法改悪反対、賃金値上し働く者の誇りと団結の強さを誇示する。今年のメーデーは特に反動攻勢の嵐の最中盛上げ、弾圧政策反対に眼目を置き、更にそれを拠点として総選挙その他の選挙闘争の強力な一環たらしめるという点で一入の意義があり、組合員はもとより家族も一人残らず参加するよう強く要望されている。

（註＝スローガンは実行委員会で確立）

この様に最初の五月一日は働く者の導い血の犠牲によつて闘われ、かちとられたのである。

一八八九年アメリカ労働者連合会は決議をもつて、毎年五月一日のその闘いを記念して、一せいにゼネストに入りデモ行進をやることにした。

同じ年、第二インターナショナル世界各国で一せいにメーデーの闘いが一せいにおそいかゝつた。スト破り を恐い、終には武装警官を動員して鎮圧しかけた。中でもマコーミックハーヴエスター会社では、労働者は男といわず女といわず、武装警官により殴られ、蹴られ、射たれ、終に死者数名を出した。

労働者の憤激はその頂点に達した直ちに翌日四日ヘイマーケットの大広場に結集し、一大デモ集会を決行した。がとゝへも再び武装警官は爆物の様に襲いかゝつた。再び殴る蹴るの大混乱、今は必死にもみ合う労働者と警官の間に突如ダイナマイトが爆発し、数百の労働者が傷つき或いは倒れた。警官はこの事件の捜査をわざとやらず、責任を一方的に労働者側になすりつけ、直に数百の労働者と九人の指導者をつかまえて牢に投げこんだ。九人の指導者の中四人は死刑、二人は終身刑、二人は十五年の懲役、二人は獄中で自殺させられた。この刑はろくに裁判もされずに決められた。死刑になつた指導者の一人は断頭台の上でこう叫んで死んでいつた。

「墓場の中での俺達の沈黙が、いつかきつと俺達の演説以上に雄弁に、俺達働く者のことを叫ぶときがきつと来る」

この様に最初の五月一日は働く者の導い血の犠牲によつて闘われ、の国の立大会はフランスの提案によりA・F・L五日を共にして、毎年五月一日各国一せいにデモを行うことを決議した。

この時から五月一日は全世界の労働者の日我らのメーデーとなつたそして翌年、一九九〇年に始めて世界各国で一せいにメーデーの闘

日本のメーデー

この様な全世界の働く兄弟達と一緒に日本の働く者達が始めてメーデー（大正九年）のことである。当時は大正年間の世界的な不景気の真只中に日本もまきこまれ、職場はなくなり、賃金はドカンと下り、失業者はあふれ、労働運動は最も困難な時に入りこんでいた。

この五月一日、日本に於ける最初の第四回のメーデーの中心スローガンは「八時間労働の実施」「賃金制度の撤廃」「植民地解放」等であり開催地十二ケ所、総計一〇、七八〇人が結集した。

こうして昭和十三年政府が「今年から以後メーデーは禁止する」と権力によつて禁止させるまで（昭和十一年、十二年も禁止命令が出た）計十六回のメーデーが日本の城前で、今は赤旗が林の様に立ちこの様に日本の最初のメーデーも働く者の真の闘いの目であり、又世界各国と同じであつた。

こうしてデモ行進に入つたが、デモは警察から禁止されていたのでおそれ、数多くの検束者を出した。

この様に日本の最初のメーデーも働く者の真の闘いの目であり、又世界各国と同じであつた。

こうしてデモ行進に入つたが、デモは警察から禁止されていたのでおそれ、数多くの検束者を出した。

この様に日本の最初のメーデーも働く者の真の闘いの目であり、又世界各国と同じであつた。

終戦後のメーデー

昭和二十一年五月一日、十一年ぶの解放の闘いの歌が唱われた。戦争のりにメーデーは生きかえつた。前前のメーデーは生きかえつた。前前のメーデーは、前代の倍二十三年、十八回メーデーは史上最大の場所、多くの人々を結集し、東京のメーデーなどは世界で最大の部に入つている。

この日第十七回メーデーは、前代よりもずつと強く、健やかな姿でこの日第十七回メーデーは、前代よりもずつと強く、健やかな姿で

勿論この闘支配の権力の弾圧、労働者側の沈滞などによつてある時は盛んに、ある時はひつそりと、夫々闘いに高低の波はあつても五月一日は働く者の日、われらのメーデーとして、いつも働く者の闘いの結集の日として守られ、闘いの続けられて来たのである。

時に第十三回（昭和七年）は、日本の帝国主義侵略の戦争、満州事変に対する労働者の闘いのメーデーとして意義が深い。この時はスローガンに一せいに「反動ファショ反対」の声が全国の働く者によつて叫ばれ、メーデーは戦前第三番目に多くの人を結集し最も多くの場所で闘われた（四二万、七〇ケ所）

然しこの第十三回メーデーの頃を機として反動政府はその対外侵略ファショ化に気違いちみて突進し、遂に第十七回（昭和十一年）の時に、二六事件の最後通ちょう

時代に明るい民主主義の光がさしこみかけて来た。

再び働く者達は自分の運命と力とに目覚め結集し始めた。その力は大きく、すばやく、労働組合は全国につくられていつた。闘いも活発に進められ、つみ重ねられていた。働く者の力があふれはじめたのだ。メーデー……黒い幕におしかぶされていた全ての働く者の闘いの目、われらのメーデーは再び働く者の手にもどつて来た。乱れ立つ赤旗、青襲、暴風と共に……

昭和三十年、労働者の闘いの日の歴史は暗い反動の風の黒幕にとざされてゆくのである。そして訪れたもの支配事変、太平洋戦争のあの忘れることの出来ない暗い、怒りに満ちた戦争の時代であつたのだ。

昭和二十年、日本の資本主義、天皇主義者たちの侵略戦争は敗戦によつてつぶれ去つた。暗い谷間の

今年のメーデーの意義

この様な闘いと怒りと苦しみをいみじもない戦争への恐怖、原爆の悪夢、こんな生きてゆくこともむづかしい、イヤな時代におちこんでゆくことになるのだ。

われわれは決して敗けない、我々は日本中に、世界中に、一番多くの仲間を持つている。団結してがんこに闘うのだ、今年の闘いは戦争か平和か、奴隷か解放かの分れ目の闘いだ。その闘いの目の前の目標こそメーデーなのだ。

メーデー！われらの闘い日、その意義をもう一度確認しよう。

アメリカ人が資金カンパ

破壊活動防止法をアメリカ人が知

今週の話題

モノをいつた　保安第一主義

六ヶ月無變災に輝く宮浦鑛

宮浦鉱は去る廿三日で六ケ月無変災を成しとげた。一口に六ケ月というが、オイソレと達成出来る記録ではなく、同鉱でも実に二年ぶりだという。それだけに保安関係者の苦労は普大抵ではなく、また組合側の積極的な協力も見逃す訳に行かない。野方支部長自ら陣頭に立つて繰込場や坑内現場を巡回し保安意識の昂揚を強調した。保安部では荒木係長、吉村主席はじめ保安要員も一体となつて保安法規の完全実施、施わくの厳行その他あらゆる手段を講じて一人も犠牲者を出さないよう全員が涙ぐましいまでの努力を傾注した。然し何といつても一番モノをいうのは組合員自らの意識で、皆の底上つた気持がこの成果を収めさせたという事が出来よう。それともう一つ、保安に関する限り労働者も個用者もない、同一の立場をとるべきだとの組合側の考え方はそのまま会社側に受入れられ、さてこそ鉱長と支部長が共に手を携えて繰込場にも立ち、坑内も巡回して保安第一主義を強調しようという訳（今後は月二回程度実施の予定）こう見て来る場合夫々の立場からする努力もさる事ながら「人の和」が大いにあずかつて力があつたという事も出来よう。

六ケ月無変災達成の当日保安部の吉村主席は感銘を連かせながら次のように語つた。

私はこゝに赴任してまだ日が浅いのですが、保安第一主義という点で労使一体、同じ考えに結ばれている、その事が充ずビンと感ぜられました。これで保安成績が向上しない筈がない。今後は組合側の一層の御協力を得て永久無変災を目標に頑張りたい。今度の六ケ月無変災はその第一階程だと思つて居ます。

保安部幹部、喜びに輝く組合

御揃いの上ッ張りに

銀水社宅婦人會が服装を統一

四月三日製作所銀水社宅では婦人会の改選を行い、十日集会所で盛大なる総会を開催、会長に相馬ハツエ、副会長鶴巣シカノ、吉賀キヨ子さんを確認、二十二日新任挨拶かたがた支部事務局を訪問、北原支部長外執行委員と面接、時に婦人会の集会の場合色々と問題になるのは服装のことでこの際集会の場合は派手にならず、実用的な「上つ張り」を作成してはどうかということになり賛成者も多数あるので組合の方で安くて品がよく目眩で買えるようなものを斡旋して頂きたいとの要望に同支部としても早急に婦人会の要望に添う様、各商店に見積りをとらせる様手配をした。

尚同日は中原教宣部長より婦人会活動には銀水社宅を限らず全面的に支援するので何人でもよいので相談に来られたいとのべ、婦人会側からも積極的な組合の協力を強じて力強い出発をすることを約束された。

さながらお花畑

四山の花嫁學校

四山社宅の花嫁学校というと一つの間にそんなのが出来たの？とめんくらうかもしれないが実際はもう三年も前から同鉱友愛クラブにもうけられて居り正式な名称は和裁、茶道、活花講習所、ちょつといかめしいが講習を受けるのはいずれも二十才そこ〳〵の結婚適齢期の娘さんたち、一歩足をふみ入れると百花りよう乱さながらお花畑の様なはなやかさで、いずれ近く四山鉱労働協議会がもたらした成果の一つとして同クラブの大広間を結婚式場に開放される事となつているので花嫁学校から結婚へ最短距離をたどる日も近い

明日、活花は十日に一回、それぞれ花嫁さんとしてのたしなみを授けており、常時約二十名程が講習を受けているが、組合としてもこれには及ぶ限りの協力をおしまずもつとたくさん受講生が参加するよう強く要望している。

見よや此の底力

四山社宅婦人チームが二位

（荒尾市の排球大會）荒尾市制十周年を記念して二十二日（四山コートで排球大会が行われた。女子の部では前年の覇者四山社宅婦人チームさすがに期待をうら切らず、惜敗おゝいにつとめ、第一戦で府本チームを二対一でしりぞけ以下八幡、第一紡毛、有明の各チームと白熱戦をえんじ結局総合得点七点で八幡チーム（八点）に次ぎ二位をしめた以下府本五点、第一紡毛三点、有明〇点の順であつた。

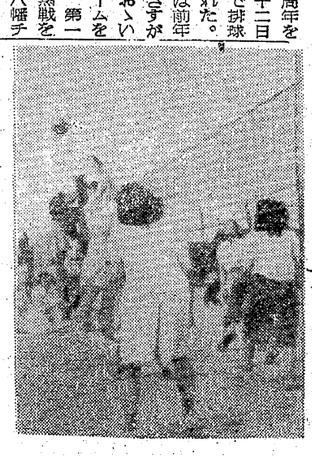
因みに男子の部は万田が優勝、緑ケ丘がこれに次ぎ四山チームは残念ながら零敗した。

野球部内大會

野球部内野球大会は十四日から十九日まで毎日終業後に東新町同製作所グラウンドで挙行、今回から組合も積極的にレクレーション運動としてとりあげワシに三池炭鉱労働組合製作支部とそめぬいた見事な優勝旗を作製、競技に一層の勢力をそえた尚優勝戦は四山分工場対事務所チームが残り結果一〇対〇で四山チームが大勝、初の優勝旗を獲得した。（優勝旗授与）

全員の大合唱

ミナト三池の歌發表会盛況



先に港務所が募つたミナト三池の歌の発表会が廿日午後一時半と六時半の二回、港務所ステージで華々しく行われた。当日は相憎の雨で客足が心配されていたが、差をあけて見ると満員の聴衆が詰めかけ、会社代表の挨拶に次いで歌曲最優秀作「三池港の歌」の作詞香鶴田俊夫氏（港務所経理課）同音頭入選作「三池港音頭」の作詞原田大輔氏（本所労働課）に対し賞状並に賞金授与があり、港務所の歌手ナンバーワン佐藤正彦君ほか三名がそつなく楽団の伴奏でメロデーに乗せ、更に萩尾氏の指導で全員の大合唱に盛り上げ、天然色映画「白鳥の決闘」に興趣を添えて盛況裡に発表会を終えた。なお当選歌はこの程コロンビアで吹込みを終え（三池港の歌は岡本敦郎、同音頭は鶴田六郎ほか）たのち宣伝班を繰り出して市中にも普及させるべく意気込んでいる。

荒尾市の排球大會

荒尾市制十周年を記念して二十二日（四山コートで排球大会が行われた。女子の部では前年の覇者四山社宅婦人チームさすがに期待をうら切らず、惜敗おゝいにつとめ、第一戦で府本チームを二対一でしりぞけ以下八幡、第一紡毛、有明の各チームと白熱戦をえんじ結局総合得点七点で八幡チーム（八点）に次ぎ二位をしめた以下府本五点、第一紡毛三点、有明〇点の順であつた。

因みに男子の部は万田が優勝、緑ケ丘がこれに次ぎ四山チームは残念ながら零敗した。

弾圧の嵐に抗して

迫る廿四時間の階級戦

全市を旗と歌声で埋めよう

世界を結ぶ労働者の祭典、第廿三回メーデーは愈々何日にせまつた弾圧法に代表される一切の反民主化の動きに抗して、大牟田でも大地評を中心に広汎な民主勢力を結集して一日午前十時から笹林公園で

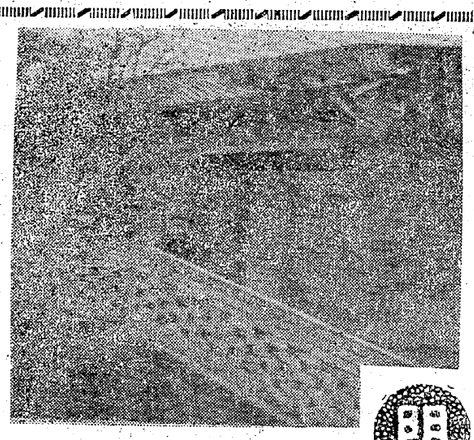
一、生活を保証する最低賃金制の確立
二、平和擾乱を守れ、再軍備絶対反対
三、不当首切り、労働組合法改悪反対
四、講和、安保条約反対、行政協定返上
五、勤労者に対する一切の税金値下げ
六、社会保障制度の早急実施
七、義務教育費の全額国庫負担
八、吉田反動内閣即時打倒
九、麦の統制撤廃、電気料金値上げ反対
十、破防法、労働三法改悪反対
十一、総選挙に労働者の力を結集せよ
十二、戦争遺家族援護法に船員遺家族を入れよ

以上のスローガンをかゝげて「全一日の階級戦」を強大に展開、大会終了後例年通り市中をデモ行進し働く者の誇りと団結の強さを誇示する。

（註＝スローガンは実行委員会で確立）

月とスッポン

社宅に見る身分の差



明

暗

「すべての国民は健康で文化的な最低生活を営む権利を有する」と再軍備問題でとかく問題になつている言葉が国の憲法第二十五条に謳つてある。

日本一を誇る三池炭鉱、近代化を誇る三池のオヤマにこれまた驚いた、言の名残の納屋が存置している。六畳一間「寝室」「客間」「食堂」「子供部屋」「書斎」「応接間」とならべてみると、畳一枚が一部屋の割である。おまけに水道、便所は外にあるしこれでは如何に文化的生活をしようと思つても炭鉱文化協会の生活指導の中に住居の活用と指導とあるがこんなに有効に使用しているのには指導の先生もはだしであろう。

本店山本労務部長のアメリカ視察の感想として炭鉱労働者こそ他産業よりよりよき生活をすべきだと述懐しているようだが、片や六畳一間に親子ツボン、提灯と吊鐘程のちがい方、つり合わないにも程がある。慾はいわないからせめて足腰延ばして休め、三度三度何を食つているか問題だけにならない程度の家には住めるよう、折角改善に本腰を入れてもらいたいものである。

五人、三番方あがりで寝るところもないという反面職員社宅族には係長級の社宅ともなれば二間、三間、三間、四畳半、六畳、八畳に湯殿所者、それでいてザアマス言葉の奥さんに子供まで含めて三人か四人、ヒツソリ隅と住んでいるというのではまるで月とスッポンと揶揄されるのである。

寄稿　特別

合法と非合法

緑衣冠者（上）

今日われ〳〵は現在の法典について何百分の一も知らない。世間の人は一般に慣習と良識と必要とに従つて行動するだろうがそれで別段悪人となり異人とされることはない人は何気なしに日常活動をしているようだが無鉄砲ではなく、皆必要に基いて行動しているのである。

法律はある面から言えば各人の行動のわくを定めたものだと言えよう。このわくはある人にとつて都合よく他の人にとつて都合が悪いという場合があまりにも多い。もしある人又はある階級、集団、団体の必要な行動がこのわくから外れるならそれは非合法だとされるのである。非合法な行動が多く行われ重要な意義をもつなら法秩序がみだされたと言われる。法律が改変されるか非合法な行動が権力によつて抑圧されてしまわなければ事態は治まらない。

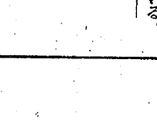
非合法な行動は行動する者の悪意から出ているとは限らない、むしろ極めて自然な当然な動機から出ている場合が多い。このような自然な当然な善意の動機からする行動が非合法とされるのは、第一に法律の性格にもよるし、第二に法文の解釈にもよる。また、そのような行動をやかましくとり上げるか黙認してしまうかにもよる。人間の行動が自然な当然な善意の必要によつて行われ、それが社会進歩にかなうならヨシとされなければならない。そこで問題は誰がどのような性格の法律を作り、どのようにそれを解釈運用するかということであり、その如何によつてその法律及びその解釈運用は進歩的であつたり反動的であつたりする。

もし法律及びその解釈運用が社会の進歩を害するようなものなら、合法か非合法かの問題は何ら意義ないものであり、その法律は破棄されなければならない。したがつて合法非合法の問題は、ただそれだけの意義しかもたず、いわば便宜の問題であつて、非合法が非難に値すると限つているわけではない。社会の進歩に害のある法律は悪法であつて、法には違いないがそれは厳履にしか値しない。法があつて人間活動があるのではなく、人間活動があつて法があるのである。もし人間が凡てなければならぬことは、それにもかかわらず、至るところで非合法な行動が行われなければならないということである。人々の必要は如何に民主的な法治国といえども法律の改変をまつことなく、非合法を求めてそれを実行させる場合がある。もつともそれを行う人々が頭から非合法だと公言するわけではなく、己れの非合法な行動を合法だと解釈し張弁するわけであるが、法律の解釈運用ほどエチ勝手なものは他に多くはない。二、三の例をみよう。

二週間ほど前に産業経済新聞が次のような意味のことを書いていた。政府及び与党は警察予備隊による自衛力漸増方策が明らに戦力であり違憲であることを自認しながら、国会では原子兵器をもたぬうんぬんで戦力でないと答弁しながら、逆つて自衛力漸増を合法と言つている。そしてこの自衛力漸増の非合法を積み重ね、これを事実として国民に示し納得させ、来るべき総選挙をまつて憲法を改訂する方針である。これを推進させるために共産党の破壊活動はむしろ政府の好むところである。同時に社会党左派その他の再軍備反対論を世論から切り離すためにあらゆる努力をすべきである…うんぬんと。所々「」印で書いてあることからみて誰か高官又は与党の主要人物の発言だと思われる。

また、労働基準法改訂の問題にしても、例えば、労使の協定により基本労働時間を十時間とする、というのが中央労働基準審議会での使用者側の提案である。その理由として、敗戦国だから、とかわが国の現状にあわずためとかいわれている。敗戦国ということは労働者側には納得されぬわが国の現状というのは一理あるかに見えるし、しかし、元来基準法は八時間労働を規定してそれに伴する賃金基準は示していない。超過労働を労働者がせねばならないのは、八時間労働では生活ができないほどに賃金が安いからであつて、労働者がほんとうに自から進んで時間外労働を希望しているわけではない。また実際に八時間労働が守られていない事業所はあまりにも多いいずれにせよ現実に十時間労働がなされているのはいわば非合法であり、この非合法は使用者が「利潤確保を許す賃金原則」を主張し血を吸う鬼のような行動をしているからに外ならない。この非合法の積み重ねられたのが「敗戦国」たるわが国の現状であるから、基準法をこの「現状」に合わせようというのが基準法改訂に関する使用者の意見の骨子のようである。（続く）

西鶴一代女



井原西鶴作「好色一代女」を吉井勇が監修し溝口健二が監督した新東宝の大作、筋は殿上の寵愛を受けた人の末に生れながら蹴き世のさだめの冷たさから身を傾城に堕り遊女におとし、果ては浦辺の歌比丘尼、奈良のそう嫁（そうか）の戯しさと流転の末に幽閉の山中に幽をむすんで念仏三まいに至る女体の果てを描いたものだが、「雪婦人図絵」の好色性でヒンシュクを買つた溝口監督が、今度はやや立直りを見せ、女性を描かせてはならぶものがないと定評された本来の面目に近づいて居る。夜更けの奈良に宿泊の振袖で姿で客をひく色香もあやしたお春（田中絹代）の哀しさもたが封建社会の非人間性に反抗する西鶴の底民精神が比較的明りょうに浮きぼりされこの映画に筋金を入れている。脚本依田義賢に負うところが多く平野好美のカメラも手固い。

主役を演ずる田中絹代には流石に争われない年齢のかげがつきまとつて若い役は無理、その代り終りに近く比丘尼になつてからの演技には胸打つものがある。三船敏郎山根寿子、宇野重吉、浜田百合子らが共演している。

明日では遅すぎる

廿三日から上映【国際】

先に試写会を行つて好評だつた「明日では遅すぎる」がいよ〳〵廿三日から廿九日まで国際劇場で封切られる。料金は特別奉仕で六〇円、東映のおしゃれ狂女、大映の西遊記の三本立同時上映。

△国際…二十九日（ロードショウ）「アリババと四十人の盗賊」リチャード・H・リーデル監督アリババ＝ジョン・ホール、アマラ姫＝マリア・モンテス、ジャミール＝ターハン・ベイ主演三十日（ロードショウ）「男性都市」ルイスセーラー監督、マレーネ・デイトリツヒ、ランドルフ・スコット

五月一日～七日「赤穂城」片岡千恵蔵、木暮美千代、山田五十鈴、月形龍之助主演「地獄谷の豪族」市川右太衛門主演

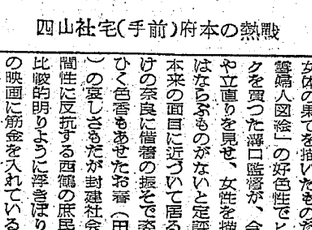
△天地…三十日より「雪之丞変化」三上於兎吉原作、林長二郎、嵐徳三郎、伏見直江主演「西陣の姉妹」田中絹代、宮城野由美子、三浦光子主演

御揃いの上ッ張りに

銀水社宅婦人會が服装を統一

四月三日製作所銀水社宅では婦人会の改選を行い、十日集会所で盛大なる総会を開催、会長に相馬ハツエ、副会長鶴巣シカノ、吉賀キヨ子さんを確認、二十二日新任挨拶かたがた支部事務局を訪問、北原支部長外執行委員と面接、時に婦人会の集会の場合色々と問題になるのは服装のことでこの際集会の場合は派手にならず、実用的な「上つ張り」を作成してはどうかということになり賛成者も多数あるので組合の方で安くて品がよく目眩で買えるようなものを斡旋して頂きたいとの要望に同支部としても早急に婦人会の要望に添う様、各商店に見積りをとらせる様手配をした。

尚同日は中原教宣部長より婦人会活動には銀水社宅を限らず全面的に支援するので何人でもよいので相談に来られたいとのべ、婦人会側からも積極的な組合の協力を強じて力強い出発をすることを約束された。



四山社宅（前手）の本府の熱戦